

青南幼稚園より 3月号 南稚だり

平成26年 2月28日

園長 茂木 尚子

うれしい春を前にして

「おはようございます」門であいさつをした後、3歳児は元気に保育室まで一人で走って行くようになりました。3学期から門で保護者と離れて登園できるように、最初は園庭にいる教師の所まで行くことから始めて、徐々に冒頭のような姿が見られるようになってきました。入園当初、お母さんと離れられず泣いていた頃から大きく成長した姿です。

4歳児は、5歳児に教えてもらいながら、誕生会の司会に頑張っており取り組んでいます。大勢の前で司会をするのは、ドキドキするものです。5歳児のお兄さん、お姉さんに優しく見守られながら、大役を果たそうと取り組む姿は、本当に頼もしい限りです。

3歳児も4歳児も、約一年の時を経て集団生活の中で大きく成長し、進級することに喜びと期待の気持ちを持ち、あこがれのすみれ組、かえで組になるべく、生活する毎日です。

5歳児は、青南小学校1年生と5年生との交流活動を行いました。5年生とは、主に交流給食を行い、児童に付き添ってもらいながら、手洗いを済ませ、順番に並んで給食を受け取って、一緒に給食を食べました。実は、2月の始めの交流給食が延期になり、園児だけでランチルームで給食を食べたので、今回は2回目の給食体験でした。前回給食をたくさん食べたことが自信につながったようで、短い時間の中でも意欲的に食べていました。また、1年生とは、小学校での3回目の交流活動です。1回目から同じグループの園児・児童と交流してきたこともあり、互いにすぐ溶け込み、教室で一緒に遊んだり、学校生活を体験したりしました。学校体験では、実際に机を前にして椅子に座る、話を聞いたり手を上げたりする、休み時間校庭で遊ぶ、ランドセルを背負い校帽を被って歩くなどを行いました。学校生活を分かりやすく絵に描いて園児に教えてくれた学級もありました。交流後、「楽しかった」「字を教えてもらったよ」と嬉しそうに話す姿が見られ、お礼の手紙作りへとつながりました。定期的な交流活動のおかげで、子供たちは小学校へのイメージを具体的に描くことができ、不安感が減り、小学校への期待が膨らんだことと思います。

3歳児・4歳児・5歳児全員が、身近なモデルを参考にしてあこがれの気持ちを持ち、『今』を意欲的に取り組むことで自信がもてるように、3月を大切に過ごしていきます。



3歳児：ひよこの会で歌を披露



4歳児：誕生会の司会



5歳児：1年生との交流



5歳児：5年生との交流給食

3歳児○友達や先生と一緒に遊ぶ中で、自分の思いを表現する楽しさを味わう。

○年長組とお別れするということが分かり、親しみと感謝の気持ちをもつ。大きくなった喜びを感じ、進級することに期待をもつ。

4歳児○お別れ会や修了式、新入園児を迎える準備などに進んで取り組み、年長組になる期待をもつ。

○学級の友達と一緒に遊びや活動をする中で、友達とのつながりを楽しむ。

5歳児○友達と互いのよさを認め合い、学級のつながりを感じながら、園生活を十分に楽しむ。

○修了に向けた活動に取り組む中で、自分たちの成長を実感し、小学校入学への期待をもつ。